

平成19年版

科学技術白書

科学技術の振興の成果

— 知の創造・活用・継承 —

文 部 科 学 省

表紙解説

天文学や解剖学、生理学まで探求したプラトン、『宇宙の神秘』を解き明かそうとしたケプラー。彼らは、正多面体を使うことで宇宙を説明しようと試みた。ギリシャのユークリッド、アルキメデス、アポロニウスもその美的な性質を理解していた。多面体は、ダ・ヴィンチ、デューラー、ヤムニツァーなどルネッサンス期の芸術家たちをも魅了した。科学者や芸術家が互いに知を共有しながら進歩してきたあり方を、多彩な多面体の規則的な動きに変換して表現した。

表紙デザイン・イラストレーション：木村政司

木村政司 きむらまさし

現在、日本大学藝術学部教授。米国スミソニアン協会国立自然人類歴史博物館にて、昆虫学のサイエンティフィック・イラストレーションを習得。ナショナル・ジオ・グラフィック社にて契約イラストレーターを経験、帰国後デザイン会社を設立。大学での主な研究課題は、サイエンスコミュニケーションの理論と実習を核にしたサイエンスとアートの融合教育とミュージアムデザイン研究。

【科学技術白書に関するご意見、ご感想をお寄せ下さい】

科学技術白書では、科学技術政策やその成果を皆様に分かりやすく説明することを目指しています。今後の参考のため、皆様からのご意見やご感想を以下の連絡先にお寄せ下さい。

なお、科学技術白書は、文部科学省ホームページからもご覧いただけます。

連絡先

文部科学省 科学技術学術政策局 調査調整課

〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1（平成19年12月末まで）

FAX：03-6734-4175

E-mail：kagihaku@mext.go.jp